

市内企業の取り組み紹介

本市に立地する企業も、生物多様性保全に積極的に取り組んでいることをご存じですか。企業が保有している緑地内には、さまざまな生きもの(野生動植物)が生息・生育しており、定期的に専門家による調査や、自然環境について学べるイベントなどを開催しています。ここでは、企業の取り組みを少しだけ紹介します。



出光興産(株)北海道製油所

自然共生サイトの登録やSEGES
の認定ラベルで最上位ステージ
の「Superlative Stage」など、
数々の対外的な評価を得ていま
す。生きものモニタリングのほか、
美術博物館と連携し、毎年市内の
小学生を対象にした環境教育活動
を開催しています。



トヨタ自動車北海道(株)

1940年代から残存するミズナラ林が工場緑地として保全されており、自然共生サイトに登録されています。エゾシカによる希少植物の食害防止対策や専門家による生きもの調査、維持・改善を図る取り組みを行っています。



北海道石油共同備蓄(株)

動物や菌類(キノコ)も多様であることが確認されており、希少種も多く生育・生息しています。毎年夏季に市民を対象としたホタル観賞会を開催しています。



(株)ノーザンホースパーク

広さ約1万坪のボタニカルガーデンでは、環境に配慮した段ボールマルチングの活用や、馬の排泄物をたい肥化し近隣牧場で資源としての利用、園内の外来植物の駆除活動を継続するなど、環境保全の取り組みを行っています。

ヒグマに注意!

**全道的に
ヒグマの出没・事故が
増えています!**

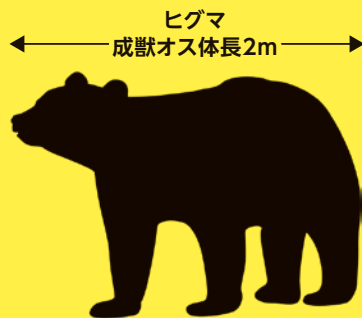
近年、道内でヒグマの市街地への出没や人身事故が増えています。本市でも、今年6月に拓勇地区・明野地区の住宅街にヒグマが出没しました。ヒグマを市街地に寄せ付けないためには、日頃からゴミ出しのルールを守ることや家庭菜園の作物の管理を行うなど、各ご家庭の対策も重要です。これからの季節は、冬眠前にエサを求めてヒグマの行動が活発化します。そこで、市街地でヒグマを目撃した場合にとるべき行動や注意点、日頃からの対策についてご紹介します。

ヒグマを目撃したら

ヒグマは背を向けて逃げる人や動物を追いかける習性があります。ヒグマと遭遇したり、目撃した場合は、ヒグマから目を離さずに、また、刺激をしないようゆっくり後退して距離を取りましょう。安全な場所に退避した上で、ヒグマを目撃したことを警察(苫小牧警察署代表電話☎(35)0110)に通報し、以下の事項を伝えましょう。

通報内容

- ①いつ(日時) ②どこで(場所) ③誰が(目撃者の氏名、電話番号)
④何を(クマなのか、クマのような生き物なのか、痕跡なのか)
⑤どんな見た目(およその大きさ、犬や猫と比較した大きさ、色、見た目の特徴など)
※緯度・経度も伝えると、現在地を正確に知らせることができます(アプリなどで確認可)



ヒグマを寄せ付けないために(日常的な対策)

- (1) ごみを出す日時や方法を守りましょう…ごみは決められた収集日(収集当日8時45分まで)に出しましょう
- (2) 不法投棄をしない…空き缶や食品の包装紙、食べ物が入ったごみの不法投棄はヒグマを誘引する可能性があります
- (3) 草刈りを行いましょう…家や庭、通路付近の草を刈り、普段から見通しをよくしておきましょう
- (4) 庭の果樹や家庭菜園を管理しましょう…実を放置すると、ヒグマや他の野生動物をまねき寄せる恐れがあります

秋のヒグマ注意特別期間

北海道ではキノコ採りやハイキングなどで山野に出かける機会が多くなり、また、冬眠に備えヒグマの活動が活発になる季節を迎えるに当たり、10月31日(金)まで「秋のヒグマ注意特別期間」を設定しています。ヒグマによる事故に遭わないために基本的なルールを守りましょう。